

教育委員会事務事業
点検・評価報告書

(平成30年度実績)

令和元年9月
小鹿野町教育委員会

目 次

1	教育委員会の点検・評価制度について	・ ・ ・ ・	1
2	平成30年度 小鹿野町教育行政重点施策	・ ・ ・ ・	1
3	点検・評価の項目	・ ・ ・ ・	2
4	達成度と評価結果	・ ・ ・ ・	2
5	点検・評価表	・ ・ ・ ・	3

1 教育委員会の点検・評価制度について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を報告書として議会へ報告するとともに、公表することが義務付けられています。

小鹿野町教育委員会では、平成27年度から30年度までを期間とする「小鹿野町教育振興基本計画」を策定し、それに基づき毎年「教育行政重点施策」を策定しています。

今回の報告書は、平成30年度重点施策に基づく取組結果を点検し、評価を行ったものです。

2 平成30年度小鹿野町教育行政重点施策

基本理念

○未来を拓く夢と希望と勇気を育む小鹿野教育

基本目標

○「ふるさとの明日を担う心豊かな人づくり」の推進

重点施策

(1) 確かな学力の育成

- ①小鹿野ベースによる授業改善
- ②家庭学習習慣の定着
- ③教職員の資質の向上

(2) 自立し周囲と協調できる社会性の育成

- ①人のためにと意識の高揚
- ②ハートコンタクトプログラムの推進
- ③おがの家庭教育宣言の推進

(3) グローバルな視点を持ち夢の実現に向かう活力の育成

- ①外国語教育の充実
- ②ICT活用能力の育成
- ③小鹿野未来塾による学習意欲の高揚

(4) 豊かな人間性と健やかな体の育成

- ①夢と志の育成
- ②ほっとハートキャンペーンの実施
- ③健康教育の推進

(5) 伝統文化の継承と生涯にわたる学びの支援

- ①ライフステージに合わせた学習機会の提供と支援
- ②生涯学習推進体制の整備と促進
- ③健康づくりとスポーツの推進
- ④文化芸術の振興と伝統文化の継承
- ⑤図書館機能の充実と読書活動の推進

3 点検・評価の項目

No	点検・評価項目	主担当課
1	教育委員会会議の実施状況	学校教育課
2	教育委員の活動状況	同 上
3	学力向上に向けた授業改善	同 上
4	家庭学習習慣の定着	同 上
5	教職員の資質向上	同 上
6	小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援	同 上
7	少子化に対応した教育課程の研究	同 上
8	ハートコンタクトプログラムの推進	同 上
9	おがの家庭教育宣言の推進	同 上
10	語学力・コミュニケーション能力の育成	同 上
11	自他の命と心を大切にする教育の推進	同 上
12	健康教育の推進	同 上
13	ライフステージに合わせた学習機会の提供と支援	社会教育課・公民館
14	生涯学習推進体制の整備と促進	公民館
15	スポーツ・レクリエーション活動の推進	社会教育課
16	文化芸術の振興と伝統文化の伝承	社会教育課・公民館
17	地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進	社会教育課・学校教育課
18	乳幼児への読書活動の推進	図書館
19	町立図書館と学校図書館の連携強化	同 上
20	中高齢者世代への読書支援	同 上

4 達成度と評価結果

達成度	評価
100%	A 【目標どおりまたは以上】
80%以上100%未満	B 【概ね目標どおり】
60%以上80%未満	C 【目標をやや下回る】
40%以上60%未満	D 【目標を大きく下回る】
40%未満	E 【未実施または再検討】

※達成度：会議の開催回数など、実績値などから目標達成率（ ）内数値を算出し、平均値（下線付き数値）を記載

※評価：上記表の5段階評価を記載

5 点検・評価表

1 教育委員会会議の実施状況			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	○議事日程に基づき、各教育機関からの提出議案等に対し、適切な審議が行われた。今後は、教育行政等に関する意見交換の機会をさらに充実させていく。
①定例会 <u>月1回開催</u>	①定例会 <u>12回</u>	(100)		
②臨時会 <u>随時</u>	②臨時会 <u>0回</u> (臨時会開催案件無)			
2 教育委員の活動状況			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>103</u>	A	○総合教育会議を通じて、町の教育行政に対し町長と教育委員会とで課題や目標の共有化を図ることができた。今後も首長とより緊密に連携しながら、教育行政を推進していく。
①総合教育会議参加 <u>2回</u>	①総合教育会議 ・今後の学校教育について ・社会教育の推進について等 <u>2回</u>	(100)		
②視察研修会参加 及び学校訪問等 <u>年間20回</u>	・給食センター視察 1回 ・彩の国学校訪問 1回 ・教委連合会研修会 1回 ・運動会 6回 ・卒入学式 12回 <u>合計 21回</u>	(105)		

3 学力向上に向けた授業改善			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>64</u>	C	○埼玉県学力調査で伸びの認められた項目が多く見られたが、全国学力調査においては、まだまだ改善の余地があった。引き続き、地道な努力を続けていく。 ○小鹿野ベースをもとにしてあらゆる機会を利用して授業改善のための研修を行っていくことで、学力の向上へと繋げていく。
①全国及び県学力・学習状況調査における正答率の向上 <u>県平均を上回る</u>	正答率が県平均を上回った項目 <u>19項目中2項目</u>	(11)		
②県学力・学習状況調査の結果向上 <u>全ての教科で伸長</u>	伸びが認められた教科数 <u>11教科中10教科</u>	(91)		
③授業改善研修会の実施 <u>全10回</u>	授業改善研修会の実施 <u>全9回</u>	(90)		
4 家庭学習習慣の定着			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>92</u>	B	○埼玉県学力調査ではかなりの上昇が見られたが、全国学力調査においては、まだまだ改善の余地があった。引き続き、地道な努力を続けていく。 ○授業改善への具体的な取り組みを示し、授業改善研修会を行っていくことで、学力の向上へと繋げていく。
①おがの自学ノートの消化率 <u>一人4冊</u>	おがの自学ノートの平均消化率 <u>一人5.4冊</u>	(135)		
②県学力・学習状況調査の結果向上 <u>家庭学習時間の上昇</u>	伸びが認められた学年数 <u>10項目中4項目</u>	(40)		
③おがの自学ノート普及のための取組 <u>全2回</u>	P T A等への啓発活動 <u>全2回</u>	(100)		
5 教職員の資質向上			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	○概ね採用後5年以内の教員を対象にした研修を実施し、資質の向上に努めた。
①若手教員研修会の開催 <u>5回</u>	若手教員研修会開催 <u>5回</u>	(100)		

②外国語教育研修会の開催 <u>5回</u>	教員外国語研修会開催 <u>5回</u>	(100)	○外国語アドバイザー、ICT活用推進員を配置し、研修会の開催に限らず、日常的な支援を学校に対して行い、教員の資質向上を図った。	
③ICT機器活用・プログラミング研修会の開催 <u>5回</u>	ICT機器活用・プログラミング研修会の開催 <u>5回</u>	(100)		
④学校教育指導員配置 <u>1名</u>	学校教育指導員配置 <u>1名</u>	(100)		
6 小鹿野未来塾による学習意欲の高揚支援			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>95</u>	B	○地域の方や小鹿野高校の協力により2年目を迎えられた。今後は、親子共学や検定の受験を積極的に行ってもらう工夫を講じる必要がある。 ○学習指導員や学習支援推進員の人材確保について、広く求めていく必要がある。
①小鹿野未来塾開催 <u>全33回</u>	小鹿野未来塾開催 <u>全33回</u> 英検チャレンジ 6回 漢検チャレンジ6回 中学生未来塾15回 科学不思議講座6回	(100)		
②検定料助成 <u>英検 80人</u> <u>漢検 120人</u>	英検・漢検検定料助成 <u>英検 76人</u> <u>漢検 110人</u>	(93)		
③学習指導員配置 <u>7名</u>	小中学校学習指導員配置 <u>6名</u>	(86)		
④学習支援推進員配置 <u>2名</u>	学習支援推進員配置 <u>2名</u>	(100)		
7 少子化に対応した教育課程の研究			《学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>89</u>	B	○複式学級への手厚い人員配置や保護者等説明会を実施するなどして、保護者の不安解消に努めた。
①学習支援推進員配置 <u>1名</u>	学習支援推進員配置 <u>1名</u>	(100)		
②保護者説明会開催 <u>8回</u>	各小学校・幼稚園・保育で開催 <u>8回</u>	(100)		
③研修会参加 <u>3回</u>	コミュニティスクール研修会参加 <u>2回</u>	(67)		

8 ハートコンタクトプログラムの推進				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>92</u>	B	○親子一緒に参加することにより、ボランティア意識の高揚を図るよう努める。
①児童・生徒の社会体験やボランティア活動を推進	ボランティア参加率 (アンケート結果より)			
<u>小学生参加率/30%</u> <u>中学生参加率/50%</u>	<u>小学生参加率/26%</u> <u>中学生参加率/48%</u>	(87) (96)		
9 おがの家庭教育宣言の推進				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>93</u>	B	○家庭学習の重要性を認識してもらうことで、学力の向上につなげる。
①家庭教育宣言の推進	家庭教育宣言の推進	(100)		
<u>5校でのPR</u>	<u>5校で広報誌に掲載</u>			
②家庭における学習時間を習慣化する	家庭学習の習慣化を図る	(86)		
<u>全児童・生徒の90%</u>	<u>全児童・生徒の77%</u>			
10 語学力・コミュニケーション能力の育成				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>61</u>	C	○英検合格率増加については、受験者数は増加したものの、合格率向上には至らなかった。 ○小学校の英語教科化を踏まえ、幼稚園への派遣日数の増加などを検討する。
①英語検定取得者の増	英語検定3級取得者割合	(35)		
<u>中学卒業時</u> <u>英検3級合格者40%</u>	<u>中学3年生合格率14%</u>			
②幼稚園における英語体験の推進	幼稚園での英語体験推進	(87)		
<u>ALTの派遣 年15日</u>	<u>ALTの派遣 年13日</u>			
11 自他の命と心を大切にする教育の推進				《学校教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>89</u>	B	○教職員対象に研修会を開催した。 ○民生委員・警察・学校・行政が一堂に会し、情報の共有化が図れた。
①人権教育研修会の開催	教職員対象人権研修会開催	(67)		
<u>教職員対象 3回</u>	<u>教職員対象 2回</u>			
②いじめ・非行防止ネットワーク会議の開催	いじめ・非行防止ネットワーク会議開催	(100)		
<u>年3回</u>	<u>年3回</u>			

③学校教育相談員の配置 <u>1人</u>	学校教育相談員配置 <u>1人</u>	(100)		○専門の相談員を依頼し、学校配置の相談員と連携し、即座に問題に対応できた。
12 健康教育の推進		《学校教育課》		
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>60</u>	C	○児童・生徒を対象に食の重要性について指導を行った。今後は、更に内容の充実を図るとともに食育授業時間の確保が課題となる。
①学校において食育授業を行う <u>年10回</u>	食育授業を実施 <u>年6回</u>	(60)		
13 ライフステージに合わせた学習機会の提供と支援		《社会教育課・公民館》		
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>96</u>	B	○小鹿野ときめき生活推進大学の講座は、町内の文化財等を現地に赴き、講師より説明を受けながら見学した。また、陶芸、そば打ち、屋台囃子体験を行った。町のバスを利用した移動だったので、受講者数に制限があった。 ○訪問講座は、各地区老人クラブの協力を得て、集会所を会場に開催し、多くの高齢者の方に参加していただいた。引き続き、高齢者の交通安全意識の向上のため、より多くの方に参加してもらえよう工夫する。 ○地区別人権学習会は、各地区の集会所等を会場に実施。引き続き人権意識の高揚・啓発のため、より多くの方に参加してもらえよう工夫する。
①小鹿野ときめき生活推進大学開催 全9回・延べ225人	小鹿野ときめき生活推進大学開催 全9回・延べ151人	(67)		
②教養講座開催 ・中央公民館 20講座／全45回 延べ500人	教養講座開催 ・中央公民館 19講座／全41回 延べ582人	(103) (116)		
・両神公民館 28講座／全44回 延べ500人	・両神公民館 26講座／全42回 延べ511人	(102)		
・生涯学習講座開催 4講座／100人	・生涯学習講座開催 4講座／90人	(90)		
③訪問講座開催 I <u>延べ400人</u>	交通安全教室・いきがい学級開催 <u>延べ451人</u>	(113)		
④訪問講座開催 II 5会場／ <u>延べ50人</u>	地区別人権学習会開催 5会場／ <u>延べ49人</u>	(98)		
⑤婚活イベント開催 <u>延べ80人</u>	・婚活イベントの開催 ・結婚相談室開設 <u>延べ79人</u>	(99)	○内容をさらに充実することにより、カップルの成立数の増加を図る。	

14 生涯学習推進体制の整備と促進				《公民館》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>100</u>	A	○ふるさとまつり文化展において、両神地区にゆかりがある歌人「前田夕暮」に関する展示を行った。今後も地元ゆかりの文化関係展示の充実を図ることに努める。
①小鹿野文化祭の開催 参加：5日間/ <u>34団体</u>	小鹿野文化祭の開催 参加：5日間/ <u>34団体</u>	(100)		
②ふるさとまつり文化展の開催 <u>参加：10団体</u>	ふるさとまつり文化展の開催 <u>参加：10団体</u>	(100)		
15 スポーツ・レクリエーション活動の推進				《社会教育課》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>108</u>	A	○少子高齢化に伴い、スポーツ人口が減少しており、大会や教室を企画しても参加者不足で中止になるケースがあり、今後の周知方法等検討する必要がある。 ○老朽化したトイレを改修、新築したことにより利用者からは好評を得ている。今後も、利用しやすい施設の維持管理、整備に努める。
①スポーツ教室開催 <u>8教室</u>	子供ソフトテニス・硬式テニス・弓道・剣道・バドミントン・卓球・ウォーキング・ソフトボール・ソフトバレーボール・ボルダリング <u>10教室</u>	(125)		
②スポーツ大会開催 17種目20大会 <u>総参加者9,500人</u>	スポーツ大会開催 15種目18大会 <u>総参加者9,307人</u>	(98)		
③体育施設整備 ・両神体育館トイレ改修 ・両神山村広場トイレ新築	体育施設の整備 ・両神体育館トイレ改修 <u>H31.2.8完成</u> ・両神山村広場トイレ新築 <u>H31.2.28完成</u>	(100)		
16 文化芸術の振興と伝統文化の伝承				《社会教育課・公民館》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>103</u>	A	○美術展の名称を小鹿野美術展に変更し、イメージアップを図った。 ○文化講演会は、講師に「さかなクン」を招いた。今回、初めてファミリー層を対象としたことと、人気相まって整理券が配布初日になくなってしまった。配布方法を工夫し改善に努める。
①小鹿野美術展開催 総出展数/ <u>500点</u> 入場総数/ <u>750人</u>	小鹿野美術展開催 総出展数/ <u>509点</u> 入場総数/ <u>917人</u>	(102)		
②文化講演会開催 入場者/ <u>600人</u>	文化講演会開催 入場者/ <u>596人</u>	(99)		

③歌舞伎郷土芸能祭 開催 <u>来場者／1,100人</u>	11月17・18日に開催 <u>来場者／1,200人</u>	(109)		○郷土芸能祭は、中学校の歌舞伎班による歌舞伎上演などがあり、多くの賑わいを見せたが、更なる集客に努める。
④文化財活用事業の 展開 <u>来場者／600人</u>	ダムに沈んだ自然と文化 展の開催 <u>来場者／507人</u>	(85)		○今まで収集してきた文化財を多くの方に見てもらうことで、地域に対する愛着を感じてもらうことができた。
⑤小中学校の総合的 学習で伝統芸能を 体験 <u>発表会を実施</u>	小学校で神楽、歌舞伎、 中学校で歌舞伎を体験 <u>郷土芸能祭・文化祭で実演</u>	(100)		
17 地域・家庭・学校の連携による家庭教育の推進			《社会教育課・学校教育課》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>82</u>	B	
①人権を考える集い 開催 <u>児童・保護者・教師／80人</u>	人権研修会の開催 (鹿小で開催) <u>児童・保護者・教師／70人</u>	(88)		○児童やその保護者の人権意識の高揚・啓発のため継続的に実施する。
②家庭教育支援事業 の開催 5講座 <u>参加者／370人</u>	家庭教育支援事業の開催 5講座 <u>参加者／189人</u>	(51)		○家庭教育支援事業の参加者には好評を得ているが、参加者を増やす工夫を引き続き検討していく。
③学校応援団への地 域協力者の増加 <u>延べ／2,500人</u>	学校応援団への地域協 力者の増加 <u>延べ／2,709人</u>	(108)		
18 乳幼児への読書活動の推進			《図書館》	
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>69</u>	C	
①ブックスタート事 業の実施 <u>参加率／対象児童100%</u>	ブックスタート事業実施 <u>参加率／対象児童100%</u>	(100)		○乳幼児健診にあわせて開催していることから、対象乳児全員が参加している。

②ブックスタチャレン ジ事業の実施 <u>参加率/対象児95%</u>	ブックスタチャレンジ事業 の実施 <u>参加率/対象児98%</u>	(103)		○読み聞かせ講座は 単独で行わないが、 おはなし会やブック スタートの会場で読 み聞かせや絵本に関 する相談を随時行っ た。 ○おはなしの会は 年々参加者が減って いるため、支援セン ター等との連携事業 として実施できるか 検討する。
③読み聞かせ講座の 開催 <u>全2回</u>	読み聞かせ講座を開催 <u>全0回</u>	(0)		
④おはなしの会プチ の開催 <u>全11回/延べ60名</u>	おはなしの会プチの開催 <u>全8回/延べ44名</u>	(73)		
19 町立図書館と学校図書館の連携強化				《図書館》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>89</u>	B	○疑問や課題を解決 することへの関心を持 たせるため、説明会 や研修会など行 い、応募点数、参加 者が増えるよう努め る。
①調べる学習地域 コンクールの開催 <u>応募点数20点</u> <u>応募参加者30人</u>	調べる学習地域コンク ールの開催 <u>応募点数14点</u> <u>応募参加者30人</u>	(85)		
②町内小中学校・公 共図書館相互貸借 <u>貸借数300点</u>	町内小中学校・公共図書 館相互貸借 <u>貸借数277点</u>	(92)		
20 中高齢者世代への読書支援				《図書館》
目 標	実績等	達成度 (%)	評価	成果と課題
		<u>103</u>	A	○図書館だよりで本 を紹介したり、図書 館員のおすすめ本を 棚に並べたりして、 利用者に働きかけを 行なったが、利用者、 貸出冊数の増加につ ながらなかった。さ らに工夫し、利用 者、冊数の増加に努 める。 ○中高齢者に読みや すい資料の収集に努 めた。
①図書館だよりの発行 <u>毎月1回</u>	図書館だよりの発行 <u>毎月1回</u>	(100)		
②図書貸出者数の増加 <u>年間9,000人</u>	図書貸出者数 <u>年間8,051人</u>	(89)		
③貸出冊数の増加 <u>年間貸出冊数1人3.3冊</u>	貸出冊数 <u>年間貸出冊数1人3.0冊</u>	(91)		
④福祉施設等での読 み聞かせ実施 <u>施設月3回</u>	福祉施設等での読み聞かせ の会実施 <u>施設月4回</u>	(133)		
⑤生きがい学級への 参加 <u>年2回</u>	生きがい学級への参加 <u>年2回</u>	(100)		